

NPO法人 team Timberize T-1グランプリ 2016

NPO法人 team Timberizeは、「木」を新しい材料として捉え、これまでの木造の伝統や慣習に捉われることなく新しい可能性を模索し、新技術や木造デザインを構築することで、社会に広く提案することを目的とする。



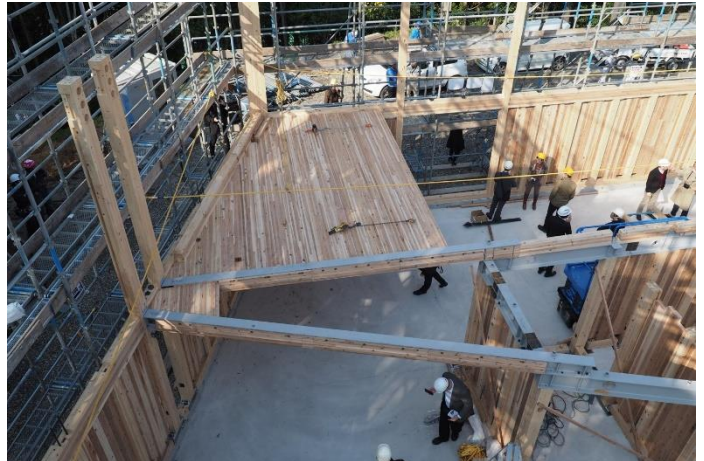
建物内観



建物外観



施工写真 (内観)



施工写真 (骨組)

受賞建物名 木造3階建オフィスビル ウッドエナジー

受賞者 設計: 網野禎昭 (デザイン工学部教授) 山口雄司 (デザイン工学研究科 2017 卒) 河野泰治 (河野泰治アトリエ/デザイン工学部兼任講師)
構造設計: 宮田雄二郎 (デザイン工学部専任講師)

概要 国産のスギを活用し、3階建てのオフィスビルを設計した。一般的な製材だけでは実現が困難な大型空間の多層化を、集成材や木質新素材 CLT、鉄骨など様々な材料を適材適所に使用することで経済的に実現した。

背景 これまでのように戸建住宅ばかりではなく、オフィスや学校、集合住宅のような大型の建築物にも積極的に木材を取り入れてゆくことで国産木材の利用を拡大し、森林資源の循環利用を促すことが、持続可能な国土形成の上で急務とされている。

企画・開発の意義 日本では建築の構造が、木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造といったように、材料ごとに区別される傾向が強い。また木造分野の中でも、在来工法、集成材構造といったような縦割り傾向が見られる。これに対し、この建物では、諸材料を積極的に混ぜ合わせることでメリットを生む合理的な設計手法を提案した。これにより、従来の木造・非木造の垣根が取り払われ、木材の活用領域の拡大が期待される。